

全鉄連流通動態調査結果表平成25年1月分

(25.2.20)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		12月実績	前月比%	1月実績	前月比%	1月実績	前月比%	1月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	12,052	101.8	55,670	90.1	55,699	90.4	12,023	99.8	
	大 阪	5,732	89.8	23,171	100.0	22,240	93.4	6,663	116.2	
	愛 知	8,328	112.6	3,171	71.0	4,253	120.3	7,246	87.0	
	計	26,112	101.9	82,012	91.7	82,192	92.4	25,932	99.3	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	23,472	104.2	10,154	90.7	10,140	98.9	23,486	100.1
		大 阪	14,332	99.1	8,982	91.2	9,457	94.7	13,857	96.7
		愛 知	11,185	101.1	7,938	118.7	6,848	104.4	12,275	109.7
		計	48,989	101.9	27,074	97.6	26,445	98.7	49,618	101.3
	溝 形 鋼	東 京	18,155	111.5	7,476	78.0	7,043	91.3	18,588	102.4
		大 阪	9,450	95.2	5,974	98.7	6,277	96.2	9,147	96.8
		愛 知	7,227	105.2	4,884	98.2	4,620	100.0	7,491	103.7
		計	34,832	105.3	18,334	88.9	17,940	95.1	35,226	101.1
	H 形 鋼	東 京	22,297	101.1	14,373	88.1	13,973	86.9	22,697	101.8
		大 阪	35,422	95.3	25,639	89.9	28,966	95.8	32,095	90.6
		愛 知	23,900	104.2	12,793	98.6	13,382	111.5	23,311	97.5
		計	81,619	99.4	52,805	91.4	56,321	96.6	78,103	95.7
合 計		165,440	101.3	98,213	92.5	100,706	96.9	162,947	98.5	
コ ラ ム	東 京	8,576	113.8	2,458	66.4	2,718	102.2	8,316	97.0	
	大 阪	7,165	117.6	3,288	82.2	3,173	108.4	7,280	101.6	
	愛 知	2,577	98.4	2,138	79.4	2,012	73.6	2,703	104.9	
	計	18,318	112.7	7,884	75.9	7,903	95.0	18,299	99.9	
軽 量 C 形 鋼	東 京	3,481	103.8	2,532	94.2	2,456	95.9	3,557	102.2	
	大 阪	2,956	111.5	1,730	84.3	1,672	95.8	3,014	102.0	
	愛 知	2,034	104.1	1,336	105.8	1,178	99.6	2,192	107.8	
	計	8,471	106.4	5,598	93.3	5,306	96.6	8,763	103.4	
総 計		218,341	102.5	193,707	91.4	196,107	94.9	215,941	98.9	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 34、大阪 22、愛知 15、合計 71社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。